

「量の見込み」の算出について

1 推計児童数の補正について

推計児童数は、前回の会議(平成 26 年度第 1 回、平成 26 年 7 月 2 日開催)において、平成 26 年 4 月の住民基本台帳人口データを用いて更新したところですが、子ども・子育て支援事業計画の策定に伴い、教育・保育提供区域(石狩・厚田・浜益の3区域)ごとに推計児童数を分けたところ、浜益区域において、増加傾向を示す結果になりました。

今回の算出は、過去の人口推移や本計画における推計においても、全市的に減少傾向であり、同区域が増加することは、考えにくいため、補正をかけるもので、人口流入がほぼなかったものとして再評価したものです。再評価にあたっては、同様の地域性を持つ、厚田区域も含めました。

このことにより、市全体の推計児童数も変更が生じ、量の見込みについて、再計算しました。結果につきましては、別表「量の見込み対照表」のとおりです。

①旧石狩区域(補正前)

年齢	H27	H28	H29	H30	H31
0	312	328	312	292	280
1	348	333	349	331	310
2	392	364	349	365	347
3	431	406	377	360	376
4	443	443	414	387	368
5	458	451	450	422	394
6	548	467	458	459	430
7	538	553	469	461	464
8	535	536	549	467	458
9	545	535	539	548	468
10	617	553	544	547	555
11	574	612	554	543	547
合計	5,741	5,581	5,364	5,182	4,997

補正なし

②厚田区域(補正前)

年齢	H27	H28	H29	H30	H31
0	6	6	6	6	6
1	2	6	6	6	6
2	4	2	7	7	7
3	9	4	3	8	8
4	6	8	4	3	8
5	8	7	8	4	3
6	10	8	7	8	4
7	5	9	8	6	8
8	9	5	9	8	6
9	12	9	5	9	8
10	18	12	9	5	9
11	13	18	12	9	5
合計	102	94	84	79	78

補正後

(補正後)

H27	H28	H29	H30	H31	
6	6	6	4	4	
2	6	6	6	4	
4	2	6	6	6	
8	4	2	6	6	
6	7	4	2	6	
8	6	7	4	2	
10	8	6	7	4	
5	9	8	6	7	
9	5	9	8	6	
12	9	5	9	8	
18	12	9	5	9	
13	18	12	9	5	
合計	101	92	80	72	67

③浜益区域(補正前)

年齢	H27	H28	H29	H30	H31
0	6	6	8	8	10
1	12	9	9	12	12
2	5	15	11	11	14
3	10	6	15	11	11
4	5	9	6	12	10
5	5	5	9	6	12
6	5	5	5	8	6
7	9	5	5	5	8
8	7	11	5	5	6
9	5	7	10	5	5
10	9	5	7	9	5
11	7	9	5	7	9
合計	85	92	95	99	108



(補正後)

H27	H28	H29	H30	H31
6	6	6	6	4
7	6	6	6	6
4	7	6	6	6
9	4	6	6	6
5	8	4	5	5
5	5	8	4	5
5	5	5	7	4
9	5	5	5	7
6	9	5	5	5
5	6	9	5	5
9	5	6	9	5
7	9	5	6	9
77	75	71	70	67

④市全体(補正前)

年齢	H27	H28	H29	H30	H31
0	324	340	326	306	296
1	362	348	364	349	328
2	401	381	367	383	368
3	450	416	395	379	395
4	454	460	424	402	386
5	471	463	467	432	409
6	563	480	470	475	440
7	552	567	482	472	480
8	551	552	563	480	470
9	562	551	554	562	481
10	644	570	560	561	569
11	594	639	571	559	561
合計	5,928	5,767	5,543	5,360	5,183



(補正後)

H27	H28	H29	H30	H31
324	340	324	302	288
357	345	361	343	320
400	373	361	377	359
448	414	385	372	388
454	458	422	394	379
471	462	465	430	401
563	480	469	473	438
552	567	482	472	478
550	550	563	480	469
562	550	553	562	481
644	570	559	561	569
594	639	571	558	561
5,919	5,748	5,515	5,324	5,131

2 「0歳児の量の見込み」の補正について

0歳児の「量の見込み」については、国において育児休業の取得状況の実態等を踏まえ、よりニーズの実態に近い量の見込みを算出する方法を検討することとし、前回の会議の中で、本市としては、国の補正方法の結論を踏まえたうえで検討することとしていました。

先般、国から、よりニーズの実態に近いと考えられる「量の見込み」を算出する方法の例(対応案)が、次のとおり示されました。

対応案

(1)現在の育児休業取得状況が必ずしも反映されないことへの対応

- ①ニーズ調査における育休取得状況の結果を利用
- ②育休取得状況・育休からの復帰割合の結果を利用

(2)1歳以降の潜在ニーズに対応できる保育サービスの量が確保されれば、保育所入所のために育児休業を切り上げる行動が抑制されるはずであるが、その状況が必ずしも反映されないことへの対応

- ①現在保育を利用している0歳児の保護者のうち、育休を希望よりも早く切り上げた理由が「希望する保育所に入るため」である者の割合を利用
- ②育休を希望よりも早く切り上げた理由等の結果を利用

(3)1年超の育休を取得する者が一定程度存在するが、必ずしも反映されないことへの対応

- ①1年超の育休取得を希望する者は、0歳児クラスは利用しないことから、適宜考慮。

なお、実際にどのような方法で算出するかについては、今回示した算出方法の全体を活用する、一部を活用する等を含め、地方版子ども・子育て会議等の議論を経て、各自治体の判断とします。

■本市における補正の考え方

今回は、昨年末に実施したニーズ調査において、対応策(1)と(3)に関する設問があり、実際に0歳児保育を利用すると見込まれる家庭の絞り込みが可能ため、対象を絞り込んだうえで、量の見込みを算出する方法としました。

具体的には、0歳児を持つ家庭のうち、ニーズ調査問6の母親の育児休業取得状況から「取得した(取得中である)」と「取得していない」に回答した方を抽出、さらに「取得した(取得中である)」と回答した方のうち、ニーズ調査問6-5の育児休業取得後に職場復帰した方への設問で、復帰した際のこどもの年齢を「1歳以下」と回答した方を対象として、利用意向率・量の見込みを算出しました。

問 6 母親または父親が育児休業を取得しましたか。

(複数回取得の場合、直近の場合についてお答えください。)

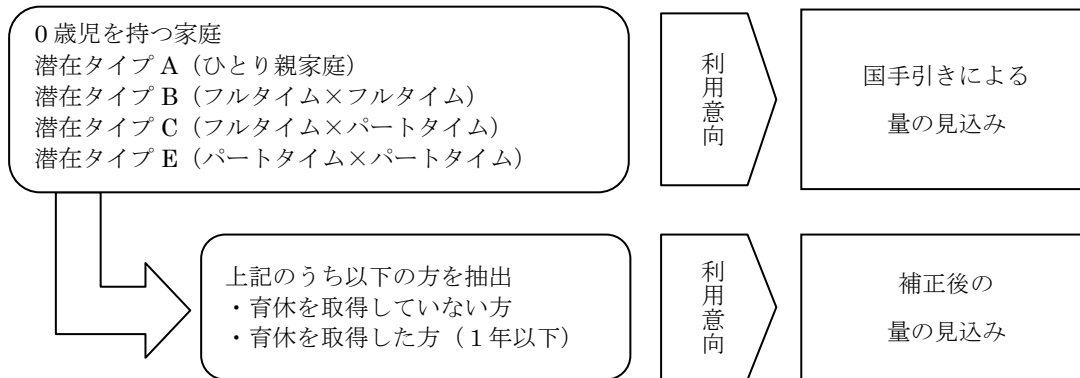
母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である)⇒問6-3(1)へ 3. 取得していない ⇒問6-1へ	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である)⇒問6-3(2)へ 3. 取得していない ⇒問6-1へ

問 6-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1)母親

実際	()歳()カ月	希望	()歳()カ月
----	-----------	----	-----------

■量の見込み算出イメージ



【参考】

抽出により除外された方は、働いていなかった方、育休を取得した方(1年以上)、無回答者となります。

■利用意向率(割合)＜3号認定0歳家庭のみ＞

		補正前	補正後
タイプA	ひとり親	1.000	0.500
タイプB	フルタイム×フルタイム	0.900	0.333
タイプC	フルタイム×パートタイム(長時間)	1.000	0.647
タイプE	パート×パート(双方長時間)	0.000	0.000

■量の見込み＜3号認定0歳家庭のみ＞

実績 H26.4.1		量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	H31
44	補正前	125	131	126	118	114
	補正後	57	60	58	54	52

3 養育支援訪問事業および子育て短期支援事業の「量の見込み」の補正について

前回の会議において、当該事業の利用実績と人口推計による児童の人口動態をもとに、以下のとおり量の見込み算出しましたが、児童数が減少しても、当該事業の利用者は増加傾向にあり、今後も増えていくとの意見がありました。

このことを踏まえ、次のとおり、量の見込みを補正しました。

(1) 養育支援訪問事業

過去5年間の事業実績から変化率を求め、量の見込みを算出しました。

具体的には、事業実績のH21からH24に着目すると、3年で1人増えています。H25実績値をベースとして、今後もこのペースで増加すると想定し、下表のとおりにしました。なお、H25実績につきましては、他年度実績と比べ値が突出していますので、変化率を考える際は除外しました。

■ 事業実績

年度	H21	H22	H23	H24	H25
訪問者数(人)	8	6	4	9	18

■ 量の見込み(補正前)

H25	H27	H28	H29	H30	H31
18	16	17	16	15	15

■ 量の見込み(補正後)

年度	H27	H28	H29	H30	H31
訪問者数(人)	18.75	19.125	19.5	19.875	20.25

↓ 小数点以下の端数整理(四捨五入)

訪問者数(人)	19	19	20	20	20
---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

(2) 子育て短期支援事業

本事業は、H25に始めた事業であり、実績から増減を判断できないため、H25実績をもって量の見込みとしました。

■ 量の見込み

H25		H27	H28	H29	H30	H31
58	補正前	51	50	49	47	45
58	補正後	58	58	58	58	58